



留学生のための入学案内

Guide for International Students



秋田大学
Akita University

秋田大学

Akita University

秋田大学は、国際資源学部、教育文化学部、医学部、理工学部及び大学院で構成される国立の総合大学です。秋田師範学校、秋田青年師範学校及び秋田鉱山専門学校を母体とし、1949年に発足しました。

在籍者数（2023年5月1日現在）

◆ 学生数：5,196名（学部生4,324名、大学院生872名）

◆ 留学生数：263名（学部生142名、大学院生121名）※学位取得目的の留学生を含む。

学部	学生数	留学生数		
		学位取得目的	短期	合計
国際資源学部	516名	11名	5名	16名
教育文化学部	888名	8名	25名	33名
医学部	1,213名	1名	0名	1名
理工学部	1,707名	84名	8名	92名
合計	4,324名	104名	38名	142名

研究科	学生数	留学生数		
		学位取得目的	短期	合計
国際資源学研究科	157名	72名	1名	73名
教育学研究科	42名	0名	0名	0名
医学系研究科	229名	3名	1名	4名
理工学研究科	424名	44名	0名	44名
先進ヘルスケア工学院	20名	0名	0名	0名
合計	872名	119名	2名	121名

国際交流協定校（2023年5月1日現在）

【大学間協定】 ● 35カ国・地域73大学

国・地域名	大学名	学生交換 見直し協定
インド	インド工科大学マドラス校	●
	ベロール工科大学	●
	バンドン工科大学	●
	トリサクティ大学	●
	ガジャマダ大学	●
	ブルタミナ大学	●
	パジャジャラン大学	●
	国立ハンバット大学	●
	開光大学	●
	国立江原大学	●
韓国	チュラロンコン大学	●
	スラナリー工科大学	●
	チェンマイ大学	●
	龍華科技大学	●
台湾	国立台湾大学	●
	国立彰化師範大学	●
	国立成功大学	●
アジア	長榮大学	●
	黒龍江大学	●
	中南大学	●
	遼寧工程技術大学	●
	大連民族大学	●
	蘭州大学	●
	吉林大学	●
	東北大学	●
	東華大学	●
	華中科技大学同濟医学院	●
長安大学	●	
中国	北華大学	●
	嘉興学院	●
	西北師範大学	●
	フイリピン大学デリマン校	●
	フイリピン大学マニラ校	●
フィリピン	フイリピン大学ロスバニョス校	●
	フイリピン大学ロビンソン	●
ベトナム	ハノイ交通・通信大学	●
	マラヤ大学	●
マレーシア	ヤンゴン大学	●

【部局間協定】 ● 22カ国・地域38学部等

部局名	国・地域名	大学名	学生交換 見直し協定	
国際資源学研究科	アジア	インドネシア	ハサスデン大学工学部	●
		インドネシア	バジャジャラン大学地質工学部	●
	アフリカ	タイ	カセサート大学理学部	●
		スーダン	紅海大学地球科学部及び海洋漁業学部	●
	セルビア	ベオグラード大学工学部	ポール校	●
		ベオグラード大学化学技術製錬研究所		●
	ヨーロッパ (NIS諸国を含む)	ポーランド	AGH科学技術大学	●
		ポーランド	日本青年技術革新センター (UJICY)	●
	ウズベキスタン	国立地質大学/日本青年技術革新センター (UJICY)		●
		ウズベキスタン	ナヴォイ鉱業大学	●
タジキスタン	タジキスタン共和国科学アカデミー附属科学・新技術革新開発センター		●	
	タジキスタン	ケベック大学州立科学研究所	●	
北米	カナダ	アルバータ大学工学部	●	
	韓国	大韓民国聖公会大学校韓国語学堂	●	
教育文化学部	中国	中国衛生部北京医院	●	
	中国	シンガポール国立大学看護学部	●	
医学系研究科	アジア	タイ	スラナリー工科大学看護学部	●
	タイ	スラナリー工科大学看護学部	●	
ヨーロッパ	フランス	リール大学医学部	●	
	ベルギー	ヴィエヴス応用科学大学看護学・作業療法学部	●	
北米	アメリカ	ハワイ大学ジョン・A・バーンス医学大学院	●	
	アメリカ	テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター	●	
医学部附属病院	中国	蘭州大学附属第一病院	●	
	台湾	明新科技大学工學院	●	
理工学研究科	アジア	中国	清華大学精密儀器与機械学系	●
		中国	清華大学化学系	●
	中国	同濟大学材料科学与工程学院	●	
		同濟大学上海市金属功能材料開発応用重点実験室	●	
	インド	インド科学技術研究評議会附属・国立科学技術研究所	●	
		マレーシア	マレーシア工科大学・マレーシア日本国際工科院	●
	タイ	タイ	泰日工業大学	●
		チュニア	スファックス大学工学部	●
	オセアニア	ニュージーランド	オークランド工科大学デザイン創造学部	●
		アメリカ	モンタナ鉱物理工科大学	●
ハンガリー	デブレツェン大学情報学部	●		
	スロバキア	コメンコウス大学数学・物理・情報学部	●	
ヨーロッパ	英国	アストン大学工学物理学部	●	
	中国	同濟大学上海市金属功能材料開発応用重点実験室	●	

※部局間協定に基づく学生交換は各部局により異なります。

春

夏

秋田

豊かな自然と伝統文化 四季の移り変わり…

秋田県は日本海に面した本州の北部に位置しています。世界遺産の白神山地、日本で最も深い湖である田沢湖、八幡平や男鹿半島などに象徴される豊かな自然に囲まれ、四季の移り変わりを感じることができます。春には桜まつり、夏には東北三大祭りに数えられる竿燈まつり、秋には紅葉、冬にはスキー・スノーボードをはじめとしたウィンタースポーツのほか、雪国ならではの数々の冬の祭りが楽しめます。

秋田大学のキャンパスのある秋田市は、人口約30万人。秋田県の県庁所在地として政治、経済の中心を担っています。交通の利便性も良く、都心に比べて物価も安いいため、留学生活を送るのに適した環境です。



かんどう 竿燈まつり

毎年8月3日～6日に秋田市で行われる祭りで、竿燈は最も大きなもので高さ約12メートル、重さ約50キロになります。この大きな竿燈を手、腰、額などで支えてバランスを取り、技を競い合います。大学にもチームがあります。



なまはげ行事

男鹿半島に伝わる伝統的な民俗行事で、毎年大晦日(12月31日)の夜に行われます。なまはげは神々の使者とされています。



田沢湖

仙北市にある日本一深い湖です(最大深度423.4m)。大学から約1時間の距離にあり、周辺ではカヌーやラフティングが楽しめます。



きりたんぼ鍋

きりたんぼとは、秋田の郷土料理で、ご飯をつぶして棒に巻き付けて焼き、食べやすい大きさに切ったものです。鶏肉や野菜、きのこなどを入れた鍋料理を「きりたんぼ鍋」と言います。

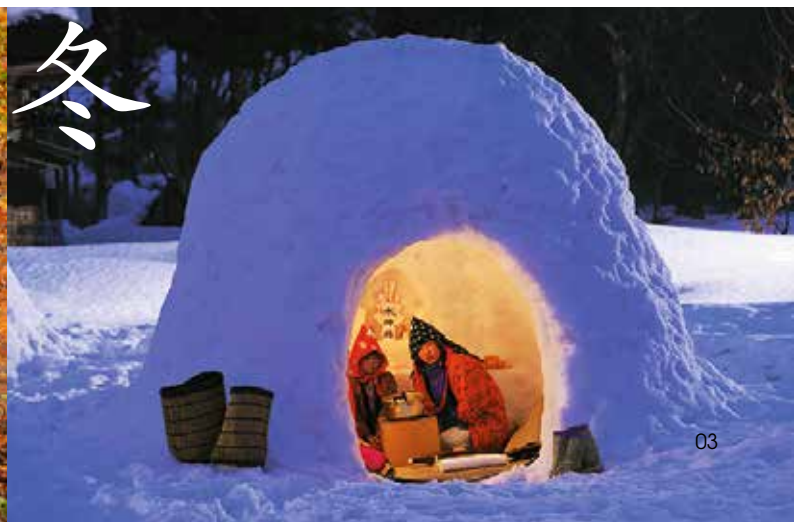


温泉

秋田には数多くの温泉があり、乳頭温泉郷や玉川温泉などが有名です。写真は、乳頭温泉郷にある露天風呂です。

秋

冬





学部紹介 Undergraduate

学部生インタビュー動画

国際資源学部



English Sub



Chinese Sub

国際資源学部は、現在世界が直面している資源問題、経済のグローバル化の進展を背景に、グローバルに資源分野で活躍できる人材育成を目指し、2014年に設置されました。これまで秋田大学が培ってきた資源学教育を礎に、国内外の大学や企業との連携体制を強化し、英語による専門教育、海外資源フィールドワークの必修化、文理融合型教育といった特色ある教育を行います。政治学や経済学、資源国とのビジネスや国際協力、その背景となる資源地域の文化や歴史、宗教など人文社会科学の視点から資源を学ぶ「資源政策コース」、資源を生み出す地球規模の自然現象、地球史、地球を構成する物質やその分布と探査について学ぶ「資源地球科学コース」、地球環境に調和した資源開発・生産技術、リサイクル・製錬技術、環境保全などの関わる専門分野を学ぶ「資源開発環境コース」の3コースからなります。

国際資源学科 資源政策コース 資源地球科学コース 資源開発環境コース

教育文化学部



English Sub



Chinese Sub

教育文化学部は、小学校を主体として幼稚園・保育所や中学校との連続性を重視した教員の養成を目指す「学校教育課程」と、地域の経済や文化の活性化、コミュニティの創生・再生などの様々な方面で、地域振興の中核となり得る能力・資質を有する人材を養成する「地域文化学科」の1課程1学科からなります。

学校教育課程 教育実践コース 英語教育コース 理数教育コース 特別支援教育コース こども発達コース
地域文化学科 地域社会コース 国際文化コース 心理実践コース

医学部



English Sub



Chinese Sub

医学部は、豊かな教養に支えられた人間性、学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探究・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と福祉に貢献できる国際的視野を備えた人材を育みます。卒業後は、臨床現場で医療人として活躍する道のほか、大学院に進学し、研究者や教育者をはじめとする医学医療の高度な専門家をめざす道が開かれています。

医学科
保健学科 看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻

理工学部



English Sub



Chinese Sub

理工学部は、世界的ニーズが明確で発展の著しい、理学と工学が融合した理工学を教育研究分野の中心とし、幅広い教育学問分野を包括する地域の教育拠点を構築します。理学・数学から理工学、工学の多面的な学問分野で、身につけた深い基礎学力と新しい発想によって新時代の諸課題にたくましく取り組む人材を育成します。

具体的には以下の4学科(8コース)からなります。

生命科学科 生命科学コース
物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース
数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース
システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース



大学院紹介 Graduate

国際資源学研究科

国際資源学研究科は、地球規模の課題となった資源問題の解決を目指し、創造性豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、将来の資源エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を養成します。特に、海外からの留学生の受け入れについては、積極的にしています。全ての講義が英語で行われており、研究活動も英語でのディスカッションが中心です。英語で履修し学位取得が可能です。

博士前期課程[修士(資源学・理学・工学)]

資源地球科学専攻 | 資源開発環境学専攻

博士後期課程[博士(資源学・理学・工学)]

資源学専攻

医学系研究科

医学系研究科は、人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の最先端研究を推進できる国際的視野を備えた優れた研究者・高度専門医療人を育成することを目的としています。

修士課程[修士(医科学)]

医科学専攻

博士前期課程[修士(看護学、リハビリテーション科学)]

保健学専攻 | 看護学領域 | リハビリテーション科学領域

博士課程[博士(医学)]

医学専攻

博士後期課程[博士(保健学)]

保健学専攻 | 生涯発達・健康支援看護学分野 | 生活機能・健康行動支援科学分野

理工学研究科

理工学研究科は、高度な専門知識・技術を原理的なところから体系的に修得し、柔軟性・国際的視野・確かな倫理観を持って、地方創生さらには我が国の持続的発展に寄与貢献できる人材の育成を目的としています。

博士前期課程[修士(理学・理工学・工学)]

生命科学専攻
物質科学専攻
数理・電気電子情報学専攻
システムデザイン工学専攻
共同サステナブル工学専攻

博士後期課程[博士(理学・理工学・工学)]

総合理工学専攻

博士後期課程では各カリキュラムを英語で履修できる英語による特別コースも設置しています。

先進ヘルスケア工学院

医学系研究科と理工学研究科、さらに高齢者医療先端研究センターが連携して教育課程を構築し、超高齢社会を迎えた地域に暮らす人々の、日常生活におけるヘルスケアから、医療の診断・治療および予後までを対象とし、現場で起こる諸問題をICTとデータサイエンスの利活用によって解決し、活力に満ちた超高齢社会に貢献するとともに、創出する新しい機器やシステムなどの研究成果を、世界に発信できる人材を育成することを目的とします。

修士課程[修士(工学)]



入学制度 Admissions

1 私費留学生

分類	目的	説明	出願
学部学生	学位取得 (学士)	大学に4年(医学部医学科は6年)以上在学し、所定の単位を取得すると学位が与えられます。	別紙「私費外国人留学生の入学者選抜」参照
大学院学生	学位取得 (修士・博士)	所定の単位を修得し、在学中に学位論文の審査及び最終試験に合格すると、学位が与えられます。 (修士) 国際資源学研究科博士前期課程、医学系研究科修士課程及び博士前期課程、理工学研究科博士前期課程、又は先進ヘルスケア工学院修士課程に2年以上在学が条件です。 (博士) 国際資源学研究科博士後期課程に3年以上、医学系研究科博士課程(医学専攻)に4年以上、医学系研究科博士後期課程(保健学専攻)に3年以上、又は理工学研究科博士後期課程に3年以上在学が条件です。	各研究科のウェブサイト参照
交換留学生 特別聴講学生(学部・大学院) 特別研究学生(大学院)	学位取得を 目的としない	学生交換の覚書を結んでいる国際交流協定校に在籍する学生が対象です。本学で1学期又は2学期、科目を履修します。 特別聴講学生 履修科目については、単位を付与するとともに成績証明書を交付します。 ※修了要件: 週8コマ(1コマ=90分)以上の授業履修かつ単位取得 特別研究学生 本学での履修・修了に関する証明書を交付します。	プログラム開始の 約5ヵ月前 4月入学希望者: 11月頃 10月入学希望者: 5月頃 ※詳細は国際交流の ウェブサイト参照
科目等履修生	学位取得を 目的としない	本学が開設する授業科目を履修し、履修した科目の成績評価基準を満たすと所定の単位が認定されます。 ※留学ビザを取得するには、週10時間以上の履修が必要です。(ただし、教育文化学部を除く)	各学部・研究科 に要個別相談
研究生	学位取得を 目的としない	指導教員の指導のもとで、特定の研究テーマについて研究を行う学生です。主に大学院への進学を目的としています。	

2 国費留学生 ※希望する方は文部科学省のウェブサイトをご参照ください。

分類	目的	説明	出願
学部学生	学位取得 (学士)	1の学部学生と同じ	大使館推薦(在外日本公館に申請)と大学推薦(在籍又は出身大学に相談)の2つがあります。
研究留学生 (大学院学生)	学位取得 (修士・博士)	1の大学院学生と同じ	
	学位取得を 目的としない	1の研究生と同じ	
日本語・日本文化研修留学生(日研究生)	学位取得を 目的としない	日本語能力及び日本事情、日本文化の理解の向上のための教育を受けることを目的とし1年間在学します。	
教員研修留学生(教研究生)	学位取得を 目的としない	大学等を卒業した者で、自国の現職教員及び教員養成学校の教員であること、また日本語を学習し、かつ日本語で研究指導を受ける者が対象です。	大使館推薦のみ (在外日本公館に申請)

※秋田大学においては、一部の授業・プログラムを除き日本語により授業が行われますので、十分な日本語能力が必要です。



経済支援 Financial Support

経済支援

(1) 入学科徴収猶予(私費外国人留学生対象)

経済的理由等により期限までに入学科の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対して、入学科の徴収を猶予する制度です。申請は学生本人が入学前に行う必要があります。

詳細は秋田大学ウェブサイト「学費・生活費・奨学金制度」
(https://www.akita-u.ac.jp/honbu/life/li_lifesupport.html)
又は、9月中旬発表予定の「秋田大学私費外国人留学生入試学生募集要項」をご参照ください。

(2) 奨学金制度 ※奨学金の受給者は、申請後、審査のうえ決定されます。全員が受給対象となるわけではありません。

a 留学生受入れ促進プログラム

日本学生支援機構(JASSO)による、私費外国人留学生(交換留学生を除く。)を対象とした制度です。

b 民間団体、地方自治体の奨学金

私費外国人留学生(交換留学生を除く。)を対象とした様々な奨学金制度があります。

c 秋田大学「新入生有英奨学金」

経済的理由により入学科の納付が困難である者(私費留学生含む。)に対して、最大で10万円を給付する制度です。



留学生のための就職サポート Employment Support for International Students

秋田大学では、これまでも多くの留学生が日本企業へ就職しています。学生支援総合センター就職推進担当では、日本での就職を希望する留学生をサポートしていますので、悩んでいることや分からないことがあれば気軽にご相談ください。

〈就職サポートの例〉

- ・ 留学生対象就職ガイダンスの開催
- ・ 就職相談の受付（履歴書の添削や、面接練習も対応可能です）
- ・ 合同企業説明会など、学内外で開催される留学生対象就職イベントのお知らせ

〈学生の声〉

私が初めて仕事を探し始めたとき、日本語を書くことに不安を感じ、面接を受けることをためらっていました。しかし、就職推進担当の職員の方がエントリーシートを添削し、面接練習を手伝ってくれました。また、熱心に私の疑問に答えてくれました。それにより、自信を大いに持つことができ、自分に合った仕事を見つけました。



交換留学プログラム Student Exchange Programs

秋田大学と学生交換の覚書を結んでいる国際交流協定校の学生が対象です。

1 AUAJ (Akita University Academic Japanese Program) 秋田大学アカデミック・ジャパニーズ習得のための特別交換留学プログラム

原則、日本語又は日本語教育を専攻し、かつ日本語能力試験N2以上の日本語能力をもった学生を対象としたプログラムです。学術活動を行うための高い日本語能力と専門知識、意欲をもった人材の育成を目指します。

2学期
(4月から翌年2月又は10月から翌年8月)

2 AUSR (Akita University Program for Solving of the Regional Problem) 秋田大学地域課題解決プログラム

日本語や専門の勉強をしながら、地域の行事や住民との交流活動に参加します。学生が日本人大学生や地域住民と協力し、地域の活性化に寄与するプロジェクトを企画・実施することを目的としています。

1学期又は2学期
(4月開始又は10月開始)

3 AUGP (Akita University General Program) 秋田大学全学留学生等プログラム

AUAJ及びAUSRとは異なる形態で留学を希望する学生向けのプログラムです。留学期間を1セメスター又は2セメスターから選ぶことができるほか、科目を自由にカスタマイズして受講することができます。

1学期又は2学期
(4月開始又は10月開始)



施設紹介 Facilities



手形食堂

平日は8:00～19:30まで、食事を提供しています。



図書館

自習スペースもたくさんあります。



パンココ(生協1階)

お弁当や飲み物などの軽食を購入することができます。



多文化交流ラウンジ

留学生が自由に使えるスペースです。平日の8:30～17:00まで開いています。



Coople(生協2階)

教科書、その他書籍や文房具を購入することができます。



国際課

留学生の皆さんへ生活支援を行っています。困ったことがあればいつでも相談に来てください。

保健管理センター 医師、看護師、カウンセラーがいます。



学生生活 Campus Life



新留学生オリエンテーション

オリエンテーションでは、秋田での生活を開始する際に必要な市役所での手続きや、日本での生活で注意すべきこと等、留学生の皆さんに必要な情報をお伝えします。大学内を案内するキャンパスツアーもあります。



新留学生
オリエンテーション
入学式

4
APRIL

5
MAY

6
JUNE

7
JULY

8
AUGUST

9
SEPTEMBER

卒業式

前期授業(4月~8月)

楽しい行事が
たくさんあります!

浴衣でお茶会体験

浴衣を着て日本のお茶会を体験します。



6月 浴衣でお茶会体験



農家民泊

このイベントでは、農作業や農家民泊でのホームステイを体験します。



10月 農家民泊



8月 竿燈祭



留学中のサポート制度

■ 担当指導教員

留学生の皆さんには担当指導教員が
つきます。学習や進学、生活についての
指導・助言を行います。

■ チューター制度

皆さんが大学での学習や日常生活を不
自由なく送れるよう支援するチューター
という学生が皆さんをサポートします。

(サポート例)

- ・皆さんの日本語の指導
- ・授業の予習・復習のサポート
- ・研究の指導アドバイス
- ・いろいろな手続きのための市役所など
への同行
- ・生活品の買い物

3
MARCH

卒業式

2
FEBRUARY

1
JANUARY

12
DECEMBER

11
NOVEMBER

10
OCTOBER

後期授業(10月~2月)

新留学生
オリエンテーション

スキーツアー

留学生と日本人学生を対象としたスキーツアーです。インストラクターもいますので、初めての方も安心です。



2月 スキーツアー



学費 (2023年度入学者)

区分	授業料	入学料	検定料
学部学生	年額 535,800円※	282,000円	17,000円
大学院学生	年額 535,800円※	282,000円	30,000円
特別聴講学生 特別研究学生	秋田大学と国際交流協定校との間で締結された「学生交換に関する覚書」に従い、秋田大学における授業料が免除されます。		
科目等履修生	1単位 14,800円	28,200円	9,800円
研究生	月額 29,700円	84,600円	9,800円

※授業料は、年額を前期と後期に1/2ずつ納付します。

※国費留学生は、本学における授業料、入学料、検定料はかかりません。



住まい Accommodation

施設紹介動画!



English Sub



Chinese Sub

1. 留学生のための寮

1 国際交流会館 大学まで徒歩5分



寄 宿 料	(A棟)単身室:5,900円/月 (B棟)単身室:15,000円/月 ※水道・電気代など別途かかります。
入居期間	1年以内

学生の声

快適な学生生活のために必要な設備が整っているのので、私は国際交流会館での生活に満足しています。綺麗で新しく立地が良くてとても便利です。さらに、友達とお茶をするために大きなラウンジを使うこともできます。

2 留学生会館 大学まで徒歩15分



寄 宿 料	単身室:5,900円/月 ※水道・電気代など別途かかります。
入居期間	1年以内

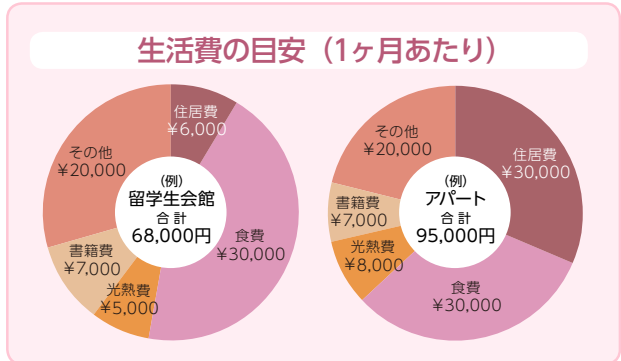
学生の声

留学生会館は家賃も安いし、交通も便利だし、周りにスーパーもいっぱいあるので、とてもいいところだと思います。

3 西谷地寮(男子寮) 大学まで徒歩15分



日本人学生と混在の寮です。修学年限まで入居可(留年した場合は卒業前に退寮)、寄宿料は20,000円/月です。



2. 民間アパート

大学生協や民間の不動産会社で物件を紹介しています。家賃は、地域や部屋の新旧等によって異なりますが、おおよそ6畳(キッチン、バス、トイレ付)で月額30,000円前後です。※契約の際には敷金・礼金等合計で2~3か月分の家賃相当額が必要となる場合があります。



コンビニ S スーパー T 郵便局



先輩からのメッセージ

Message from Students



リオン ジャゼ さん (マレーシア)

理工学部 システムデザイン工学科 機械工学コース

日本に留学するのは中学校からの夢でしたが、今、秋田大学でその夢が叶いました。日本留学のためにマレーシアで1年半日本語学校に通い、昨年「渡日前入学許可」という制度で秋田大学を受験しました。合格発表を待っている間日本語と専門教科の勉強を続け、さらに様々な知識を身につけました。

日本に来るのは人生初めてですが、ただ一人で秋田に来られたのは自分でも信じられません。秋田に来る時、国の先輩は誰も知らなかったのですが、少し不安でしたが、なんとか自分で困難を乗り越え、無事に秋田大学に着きました。これが良い経験となり、自立力がよ

り一層強くなったと思います。

現在、秋田大学で留学生として生活して3ヶ月くらい経ちましたが、日本の文化や習慣をいっぱい学んできました。敬語を使う、先輩後輩の関係について意識していることなど、文化の違いで少しショックを受けたこともあります。先輩や同級生のおかげで日本の生活に慣れることができました。秋田に来たばかりのときは自信がなく日本語が全くしゃべれませんでした。みんながゆっくり聞いたり、話しかけたりしてくれて、だんだん自信が付き、しゃべり方も上手くなりました。

秋田大学では、たくさんのサークルや部活があります。私は音楽が好きで軽音楽研究会というサークルに入っていますが、サークルの人たちは親切で、サークルの案内だけでなく勉強のことも色々教えてください。また、サークルで友達もいっぱいできて良かったと思います。

来年先輩になったら、新入生の留学生たちに秋田大学の温かみを教えてあげようと思っています。皆さんに秋田大学の美しさを紹介したいです。



プアントーン カーン さん (タイ)

国際資源学研究所 資源学専攻 資源地球科学講座

秋田大学は、私が今まで経験したことのないような研究の機会をたくさん与えてくれます。大学院生として、教授やスタッフは必要なアドバイスを含めて研究全体を指導してくれますし、研究目的を達成し学位を取得するために使用できる研究施設を提供してくれます。ここでの研究コミュニティはさらに興味深いです。日本人や留学生を含め、たくさんの新しい友人を作ることができています。

また、研究や勉強だけでなく、文化、言語、スポーツなど、日本について学ぶ機会もたくさんあります。大学は、私たちがイベントに参加し、同時に日本の素敵な文化について学べるよう、たくさんの活動を提供してくれます。秋田市は、私が日本で一番好きな街のひとつです。地元の人々は親切で、温かく迎えてくれます。自然も素晴らしく、一年を通して四季折々の美しい自然を楽しむことができます。

まとめると、もしあなたが世界レベルの教育を受け、日本の文化や美しい景色を体験し、新しい友達を作りたいと考えているなら、秋田大学はあなたにとって最適な答えです。



学部入学の流れ(私費外国人留学生)

● 本学へ出願する前に、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験する必要があります。



私費外国人留学生入試学生募集要項(願書)の請求方法

秋田大学私費外国人留学生入試学生募集要項(PDF)はホームページで確認できます。



願書の請求方法は、募集要項又はホームページで確認してください。

秋田大学受験生ポータルサイトから
<https://www.akita-u.ac.jp/admission/>



大学院入学について

各研究科によって、入学条件や出願、入試日程が異なります。自分の希望する研究科のウェブサイトを随時確認してください。

国際資源学研究科	: https://www.akita-u.ac.jp/shigen/graduate/info.html
医学系研究科	: http://www.med.akita-u.ac.jp/department/gs/kenkyu-selection.php
理工学研究科	: https://www.riko.akita-u.ac.jp/graduate/prospectus/

秋田へのアクセス



- 東京から**
 - 羽田空港—秋田空港(1時間5分)
 - 秋田新幹線「こまち」 東京駅—秋田駅(約4時間)
- 名古屋から**
 - 中部国際空港—秋田空港(約1時間25分)
- 大阪から**
 - 大阪国際(伊丹)空港—秋田空港(約1時間20分)
- 札幌から**
 - 新千歳空港—秋田空港(55分)



秋田大学

秋田大学 高等教育グローバルセンター

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号
TEL+81-18-889-2258 FAX+81-18-889-3012
E-mail : ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/index.html>

令和5年10月発行

